

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年2月13日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社 太陽工機
コード番号 6164 URL <http://www.taivokoki.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
四半期報告書提出予定日 平成27年2月13日
配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 渡辺 登
(氏名) 小林 秋男

TEL 0258-42-8808

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	3,801	32.9	323	740.8	305	—	185	—
26年3月期第3四半期	2,860	△33.7	38	△93.2	9	△98.3	△10	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	63.26	63.22
26年3月期第3四半期	△3.45	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	4,229	—	2,613	—	—	61.8
26年3月期	3,677	—	2,461	—	—	66.6

(参考)自己資本 27年3月期第3四半期 2,613百万円 26年3月期 2,450百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年 3月期の業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,900	32.2	750	230.8	720	282.0	445	455.1	151.51

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	2,978,200 株	26年3月期	2,978,200 株
27年3月期3Q	39,850 株	26年3月期	46,150 株
27年3月期3Q	2,936,726 株	26年3月期3Q	2,930,164 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間の工作機械業界は、日本工作機械工業会が発表した平成26年1月から12月までの工作機械受注実績が前年同期比で35.1%増加する等、受注状況は好調に推移しております。

こうした状況の中、当社の受注も国内は好調に推移し、海外でも増加傾向にあります。当第3四半期では、平成26年10月30日から11月4日にかけて開催された日本国際工作機械見本市「JIMTOF2014」で前回実績を大きく上回る受注を確保することができました。また自動車関連企業からの複数台受注を多数獲得した他、国内の軸受関連企業からの大口受注も獲得することができ、受注水準は着実に増加してきております。

製品面では、お客様の更なる生産性の向上に貢献すべく、平成26年10月に現在の主力製品であるNVGⅡシリーズの機能を更に高めた中・大型の立形複合研削盤「CVG-9」及び自動車部品の量産加工をターゲットとした高生産型の小型立形研削盤「PGV-2」を市場に投入いたしました。

特に「JIMTOF2014」に出展した新製品「CVG-9」は、明確なコンセプトと生産性を格段に高めるシステムが、お客様のニーズを確実にとらえ、国内外のお客様から受注を獲得いたしました。今後は「CVG-9」及び「PGV-2」の受注拡大を図るとともに、ラインナップの拡充を推し進めてまいります。

当第3四半期累計期間の受注高は5,841,464千円（前年同期比70.9%増）となりました。うち当社主力機種である立形研削盤は4,298,440千円（前年同期比60.9%増）、横形研削盤は1,113,718千円（前年同期比148.6%増）、その他専用研削盤は429,305千円（前年同期比44.4%増）となりました。

生産高は3,532,922千円（前年同期比33.3%増）となりました。うち立形研削盤は2,377,001千円（前年同期比22.0%増）、横形研削盤は839,536千円（前年同期比262.8%増）、その他専用研削盤は316,385千円（前年同期比32.9%減）となりました。

売上高につきましては、3,801,476千円（前年同期比32.9%増）となりました。品目別に示すと、立形研削盤は2,607,759千円（前年同期比25.8%増）、横形研削盤は885,156千円（前年同期比217.9%増）、その他専用研削盤は308,559千円（前年同期比39.2%減）となりました。

損益につきましては、営業利益323,772千円（前年同期比740.8%増）、経常利益305,104千円（前年同期比3,180.5%増）、四半期純利益185,766千円（前年同期は10,104千円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

(流動資産)

当第3四半期会計期間末の流動資産は前事業年度末に比べて591,520千円増加し、2,990,843千円となりました。これは主に現金及び預金が7,704千円、売掛金が232,992千円、製品が22,433千円、仕掛品が231,233千円、原材料及び貯蔵品が38,188千円、繰延税金資産が9,337千円増加したことによるものです。

(固定資産)

当第3四半期会計期間末の固定資産は前事業年度末に比べて39,456千円減少し、1,238,517千円となりました。これは主に有形固定資産が59,413千円減少したことによるものです。

(流動負債)

当第3四半期会計期間末の流動負債は前事業年度末に比べて448,901千円増加し、910,591千円となりました。これは主に買掛金が215,609千円、短期借入金40,000千円、未払法人税等103,889千円、製品保証引当金が10,207千円増加したこと、役員賞与引当金が14,842千円減少したことによるものです。

(固定負債)

当第3四半期会計期間末の固定負債は前事業年度末に比べて48,392千円減少し、705,327千円となりました。これは主にリース債務が44,042千円減少したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は前事業年度末に比べて151,554千円増加し、2,613,441千円となりました。これは主に利益剰余金が156,445千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年3月期通期の業績予想につきましては、好調な受注状況を背景に、本日付で上方修正を行っております。
なお、詳細につきましては、本日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	107,751	115,456
売掛金	1,187,573	1,420,566
製品	-	22,433
仕掛品	799,370	1,030,604
原材料及び貯蔵品	190,725	228,914
繰延税金資産	79,344	88,682
その他	35,557	85,186
貸倒引当金	△1,000	△1,000
流動資産合計	2,399,323	2,990,843
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	746,193	711,284
土地	354,269	354,269
その他(純額)	120,954	96,449
有形固定資産合計	1,221,417	1,162,003
無形固定資産	4,905	3,886
投資その他の資産		
繰延税金資産	4,083	3,562
その他	47,567	69,064
投資その他の資産合計	51,650	72,627
固定資産合計	1,277,974	1,238,517
資産合計	3,677,297	4,229,361
負債の部		
流動負債		
買掛金	152,541	368,151
短期借入金	60,000	100,000
未払法人税等	22,584	126,473
製品保証引当金	38,891	49,098
役員賞与引当金	21,947	7,105
その他	165,724	259,763
流動負債合計	461,689	910,591
固定負債		
リース債務	711,317	667,274
その他	42,402	38,052
固定負債合計	753,720	705,327
負債合計	1,215,410	1,615,919
純資産の部		
株主資本		
資本金	700,328	700,328
資本剰余金	471,970	472,960
利益剰余金	1,317,301	1,473,747
自己株式	△38,905	△33,594
株主資本合計	2,450,695	2,613,441
新株予約権	11,192	-
純資産合計	2,461,887	2,613,441
負債純資産合計	3,677,297	4,229,361

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	2,860,015	3,801,476
売上原価	2,018,527	2,656,882
売上総利益	841,488	1,144,593
販売費及び一般管理費	802,981	820,821
営業利益	38,506	323,772
営業外収益		
受取利息	41	38
受取手数料	975	1,042
助成金収入	3,763	3,224
受取賃貸料	806	1,806
その他	1,017	2,442
営業外収益合計	6,604	8,553
営業外費用		
支払利息	23,941	19,035
売上割引	1,633	1,219
支払手数料	798	822
その他	9,435	6,144
営業外費用合計	35,809	27,221
経常利益	9,300	305,104
特別利益		
新株予約権戻入益	-	8,942
特別利益合計	-	8,942
特別損失		
固定資産除却損	-	1,549
特別損失合計	-	1,549
税引前四半期純利益	9,300	312,496
法人税、住民税及び事業税	10,150	135,547
法人税等調整額	9,254	△8,817
法人税等合計	19,404	126,730
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△10,104	185,766

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。